minii kusa vol.4

特集 笠間最古の窯元をたずねて〜久野陶園〜

花めぐりマップ

ひと目でわかるギャラリースケジュール

陶芸女子こらむ「花見と器」

＊益子面はウラへ

2014/4/1 発行

第33回笠間の陶炎祭（ひまつり）

日時　：　4/29（火・祝）〜5/5（月・祝）
時間　：　9：00〜17：00
場所　：　笠間芸術の森公園イベント広場
お問い合わせ　：　0296-73-0058（笠間焼協同組合）
http://www.himatsuri.net
（笠間の陶炎祭公式ホームページ）

笠間陶炎祭　検索

☆笠間の陶炎祭HP内にある、陶芸女子ブログもお楽しみに！！

匠工房・笠間フェア

ロクロ体験やなど、伝統工芸師の実演など笠間焼に親しむことができます。
入館・体験・見学・休憩すべて無料！

日時　：　5/3（土・祝）〜5/5（月・祝）
時間　：　9：00〜16：30
場所　：「匠工房・笠間」茨城県工業技術センター窯業指導所
（笠間芸術の森公園内）
お問い合わせ　：　0296-72-0316
http://www.kougise.pref.ibaraki.jp/yougyou/index.htm

匠工房・笠間　検索

4/29(火・祝)〜5/5(月・祝)まで笠間芸術の森公園にて、春の陶器市、第33回笠間の陶炎祭(ひまつり)が開催されます。200件以上の陶芸家・窯元・地元販売店が出店する、茨城県下最大の陶器市です！
笠間焼の販売はもちろん飲食店が立ち並び、楽しいイベントも盛りだくさん！

※会期中は道路の混雑が予想されますので余裕を持ってお越し下さい。
※臨時の大規模駐車場（旧畜産試験場跡地）あり。
（駐車場から会場まで無料シャトルバスが運行しています）

おすすめスポット

⑨ きらら館

全国の作家600人以上の陶器が並ぶお店。
きらら館の工房でひとつひとつ丁寧に作られる器は、丈夫で料理が映える、キャンバスのような白。使い勝手の良さが魅力です。

Ceramic Art Kilala kan きらら館

笠間市笠間2258-1
0296-72-3109
店休日:年中無休
営業時間:10:00〜18:00
http://www.kilalakan.jp/kasama.html

笠間市箱田 1804　Tel 080-5016-6966
営業時間 10:00〜17:00　※不定休につき要予約

240年間続く歴史ある窯元

久野陶園

笠間焼は、江戸時代中期の安永年間（1772〜1780)、信楽（現在の滋賀県）の陶工・長右衛門の指導により、窯を築き陶器を焼いたことが始まりとされています。その笠間焼の創始の窯元が、「久野陶園」。初代・久野半右衛門道延によりその歴史が始まり、日用陶器・そして厨房用粗陶器の窯業産地として知られるようになりました。時代とともに、「工芸陶芸」へと変化していった笠間焼。その歴史が生まれた場所－窯元「久野陶園」の今に迫ります。

昔の雰囲気をそのままに残すこうば

こうばの入口から一歩中に入ると、そこには歴代の職人たちが使っていた様々な道具がたくさん残っている。その中でも、現存している「ベルト式動力ロクロ」は見物の１つ。今ではとても貴重となったその道具は、１つの動力で大きなベルトを回転させ、床にまっすぐと延びる軸が回転し、ロクロとその回転軸とをベルトでつなぐと動く仕組みになっている。6台のロクロがずらりと並ぶこうばは圧巻だ。そのすぐ傍には、趣きのある囲炉裏も残っており、かつてそこで作業していた職人たちの姿が目に浮かぶようである。

２つの登窯

久野陶園が全盛期を迎えたのは、明治の終わりから昭和初期。徐々に増築していったとされる登窯が2基あった。素焼の窯が7房、本焼の窯が14房。窯に使うレンガもこの場所で作っていた。2002年、本焼の窯が笠間市の指定文化財となった。しかし、この窯は2011年の東日本大震災の際に半壊。もう1つの窯は全壊してしまった。震災の前年、地元の大工さんの協力を受け、雨漏りで傷んでいた屋根を修理した。「もしこの時修理をしていなければ、もっと酷い状態になってしまったかもしれない」と十四代目である慶子さんは話す。現在は、全壊した窯の古いレンガを使って、小さい窯が再建されている。

「久野陶園」という存在 － 十四代目・慶子さんに聞く－

久野陶園は「生まれた場所」。幼い頃から、こうばは遊び場だった。職人たちに怒られながら、かくれんぼをしたり、周りでちょろちょろして遊ぶことが大好きだった。そんな子供の頃の経験が大きいと話す。「いずれは十四代目に」と言われることが、とても嫌だった。どうにか逃げ出したいと考えていた。それでもこの道を選んだのは、「作ることが好きだから」。職人たちの作業を傍で見ていたことは、とても良かったと思うし、自分の中にその時代の風景がちゃんと残っている、そう慶子さんは話す。

昔、たくさんいた職人たちも今はもういない。昔ながらのこうばの中で、現在は手ひねりやロクロの体験・陶芸教室も行っている。子供時代を過ごした場所。そして、いつしか遠ざけてきた場所。先代である父親が亡くなった時もすぐには十四代目を継ぐ気にはなれなかった。それでも今はこの場所を選び、やきものに向き合っている。最近は、やきものの歴史の勉強も面白いと思えるようになったという。

最後に、慶子さんにとっての久野陶園という存在について聞いてみた。「何とかしたい、と思ってはいるけど、大したこと出来ないうちに終わっちゃいそうですね。きっとその意味は死ぬまで分からないです。」そう笑って話してくれた慶子さん。母屋裏の竹林の中にあるお墓には、昔の陶工も眠っている。笠間焼の歴史を目で肌で感じることができるこの場所には、ゆっくりとした時間が流れている。

（取材＆文：piro）

陶芸女子こらむ【和食と和食器】

春の行事の一つである花見。花見といえば桜。日本ならではの慣習ともいえる花見の文化は古くから日本人に親しまれてきました。桜は人の心を惹きつけてやみません。いつの時代も日本人は、桜の下で、大切な人、愛する人、家族や仲間たちとともに桜を見上げるのです。

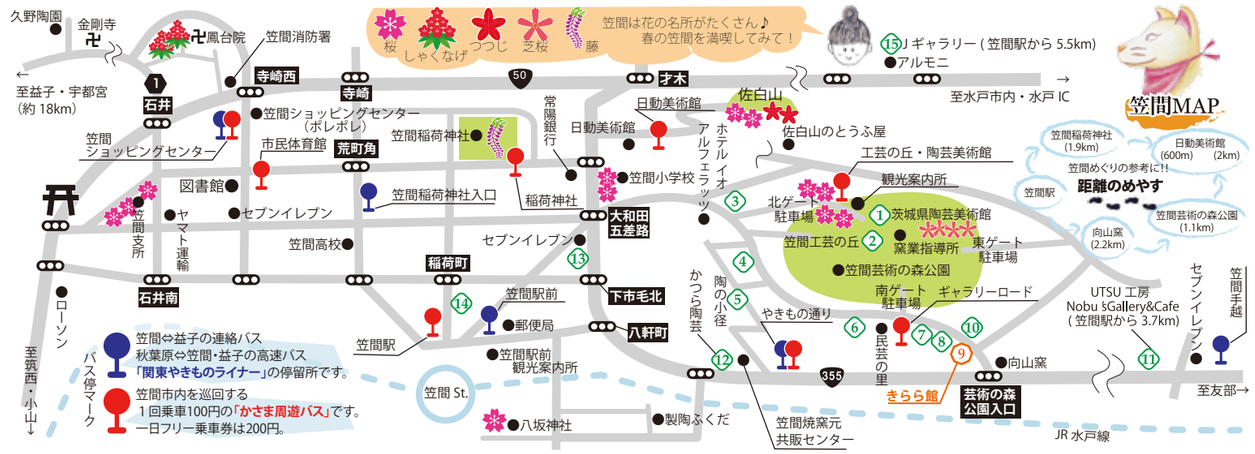
奈良時代の頃は、中国から梅の渡来とともに梅の花を鑑賞する文化が伝わり、この時代の代表的な花として万葉集にも梅が多く詠われました。その頃は、桜はそれほど好まれてはいなかったようです。平安時代に入ると、京都には自生の桜が多く、梅から桜へと人々の好みがかわり、貴族の間でも家に桜が植えられるようになりました。約一二〇〇年前には天皇が最初の「観桜会」を開き、以後、桜の植樹も都では盛んに行われるようになりました。

源頼朝や足利将軍なども花見を開き、とくに豊臣秀吉が主催した吉野や醍醐寺の盛大な花見は過去にも類をみない規模で、その華やかさは庶民の間でも長く言い伝えられたほどだったそうです。江戸時代に入ってからは家継や八代将軍吉宗による江戸への大量植桜が行われています。桜の木が多かった上野の寛永寺も花見の期間だけ境内を開放し、みんなで花見に出かける習慣が生まれたようです。この頃の江戸っ子は男も女も着物をあつらえ、着飾って出かけ、芝居見物や寺社参詣とならぶ重要なレジャーの一つでもあり、男女の出逢いの場でもありました。

さて、日本には時を経て変わらず美しく咲く桜があります。桜を楽しむ人々の風情ある情景が描かれている『浮世絵』です。歌川広重の浮世絵には、若い女性たちが優雅に花見している様子が描かれ、その横には、徳利と盃、料理を詰めたお重などが並びます。集団での賑やかな花見が多く描かれ、徳利、盃、取り分け用の皿や箸などを組み入れた携帯用の「花見重」なるものも使われました。日本の花見、そこには絵になる器があったのです。

春。そんな歴史に想いをはせながら、花の下を散策し、お弁当に舌鼓を打ちながら花見に興じる。そんなひと時をお気に入りの器で楽しんでみてはいかがでしょうか。

【コラム：yuki】



GALLERY SCHEDULES ギャラリースケジュール

※都合により、展示内容・会期が変更となる場合がございます。

① 茨城県陶芸美術館　笠間市笠間2345　0296-70-0011　9時30分〜17時　月曜休(祝日の場合は翌日)

麗しのマイセン 展　4/26(土)〜7/13(日)

② 笠間工芸の丘　笠間市笠間2388-1　0296-70-1313　10時〜17時　月曜休(祝日の場合は翌日)

【クラフトギャラリーⅠ】
渡辺 兼次郎 野の花の絵付器展　4/1(火)〜13(日)　久保田 耕一 作陶展　4/15(火)〜27(日)
山口 堅三 作品展　4/29(火・祝)〜5/11(日)　長山 六 作陶展　5/13(火)〜25(日)
折笠 秀樹 陶展　5/27(火)〜6/15(日)　樫村 恭子 作陶展　6/17(火)〜29(日)
【クラフトギャラリーⅡ】
「場・連・動」展　4/1(火)〜13(日)　藤森 暉彬 展　4/15(火)〜27(日)
わが家のモニュメント 浅賀 正治　4/29(火・祝)〜5/11(日)
小林 政美 作陶展　5/13(火)〜25(日)　〜青白磁・青花〜 相馬 晃・登志恵 作陶展　6/3(火)〜15(日)
山崎 正光・幸子 二人展　6/17(火)〜29(日)

③ ギャラリー舞台　笠間市笠間2518-8　0296-73-0700　11時〜18時　月曜休(祝日の場合は翌日)

髙橋 協子 展　4/5(土)〜20(日)　櫻井 理人・あゆみ 展　5/24(土)〜6/1(日)

④ Glass Gallery SUMITO　笠間市笠間2192-35　0296-72-2104　10時〜17 時　金曜休

中村 敏康 KIRIKO展〜vol.3　4/19(土)〜5/11(日)
9人の作家さんによるガラスの生物展　5/17(土)〜6/15(日)

⑤ 陶の小径　0296-72-6865(代表)

春の花を生ける　3月〜5月　風鈴展　6月〜7月

⑥ 回廊ギャラリー門　笠間市笠間2230-1　0296-71-1507　10時〜18時　無休

寺本 一門 展　3/29(土)〜4/11(金)　山下 秀樹 展　4/12(土)〜25(金)
斉藤 正秋 展　4/26(土)〜5/9(金)　杉山 洋二 展　5/10(土)〜23(金)
和田 由紀子 展　5/24(土)〜6/6(金)　みずのみさ 展　6/7(土)〜20(金)
阿部 慎太郎・船串 篤司 二人展　6/21(土)〜7/4(金)

⑦ SPACE nico　笠間市笠間2257-5　0296-73-0750　12時〜17時　火曜休

nico の小さな陶器市　4/26(土)〜5/15(木)　外山 亜基雄 展　6/7(土)〜23(月)
はざまよいこ ガラス 展　6/28(土)〜7/7(月)

⑧ かまげんん　笠間市笠間2255-3　0296-72-0039　9 時30分〜17時30分　無休

マンスリー 竹内 宏文 春の器 展　4/1(火)〜30(水)　マンスリー 尾崎 高行陶展　6/1(日)〜30(月)

⑨ きらら館　笠間市笠間2258-1　0296-72-3109　10時〜18 時　無休

岩本 倫子 作陶展　4/8(火)〜20(日)　中浦 和博 作陶展　4/22(火)〜5/6(火・祝)
内藤 加奈子 作陶展　5/8(木)〜18(日)　駒澤 博司 作陶展　5/20(火)〜6/1(日)
安藤 喜代子「Kiyoko Ando Exhibition 2014」展　6/3(火)〜15(日)
出町 光識 作陶展　6/17(火)〜29(日)

⑩ かしゃま文化会館　笠間市笠間2305-1　12時〜18時　月曜・火曜休

Lee Minoda『175SNAPS & some questions』　4/9(水)〜5/11(日・祝)　常設展示　5〜6月

⑪ UTSU工房 Nobu's Gallery & Cafe　笠間市手越62-6　11時〜18時　0296-71-1035　月曜・第3火曜休

春の手仕事 行田奈奈 手織り 3/29(土)〜4/6(日)　利根川 友理子 展 stromatolite 4/22(火)〜27(日)
池田 洋美 洋服展 vol.3　5/4(日・祝)〜11(日)　矢萩 栄司・千原 通明 写真二人展(仮) 5/27(火)〜6/1(日)
にし よしみ 絵画展(仮)　6/7(土)〜15(日)　※6/9(月)休廊
Nobu's Gallery 企画 vol.9 筒井 修 陶展（仮）6/21(土)〜29(日)　※6/23(月)休廊

⑫ かつら陶芸 BAGUS　笠間市下市毛47-3　0296-72-6688　9時30分〜18時　年末休(12/30・31)

駒澤 博司 展 3/25(火)〜4/7(月)　尾崎 高行 展 4/13(日)〜29(火・祝)

⑬ 手打百藝 泰然　笠間市下市毛229-1　0296-73-5008　11時〜15時（土日は〜19時）火曜休

比呂・タナカミチコ 展 3/27(木)〜4/23(水)　酒井 敦志之 展 5/15(木)〜6/18(水)
加藤 春奈・町田 幸 展 6/19(木)〜7/23(水)

⑭ ギャラリー桜　笠間市下市毛273　0296-72-0803　10時〜17時　月曜休(祝日の場合は翌日)

及川 美智子 展　4/19(土)〜5/6(火・祝)

⑮ J gallery　笠間市笠間4044-1　0296-73-4541　10時〜17時　水曜・第3火曜 休

三東 宗二郎・本田 正二人展 4/3(木)〜27(日)　竹工芸展 5/1(木)〜27(火)
岩見 正已・岡 真理子 二人展 6/1(日)〜29(日)

miniiku編集部おすすめ！ 笠間のイベント情報

○あたご山 桜まつり
日時：4 月 5 日（土）〜5 月 6 日（火・祝）
会場：愛宕山大駐車場
問 /TEL：0296-72-9222(笠間観光協会)

○第 12 回 北山公園桜まつり
日時：4 月 5 日（土）〜12 日（土）
会場：北山公園
問 /TEL：0296-72-0216（事務局・深澤）

○第 43 回 笠間つつじまつり
日時：4 月 19 日（土）〜5 月 11 日（日）
8:00〜18:00（※開花状況により延長の場合あり）
会場：笠間つつじ公園（有料）
問 /TEL：0296-77-1101（笠間市商工観光課）

○第 8 回 ちょっ蔵新酒を祝う会
日時：4 月 27 日 11:00〜21:00 頃
会場：磯蔵酒造（有料）
問 /TEL：0296-74-2002（磯蔵酒造）

○鳳台院の石楠花（しゃくなげ）
日時：5 月中旬〜下旬
会場：鳳台院
問 /TEL：0296-72-0024

○第 11 回 道の市
日時：6 月 7 日（土）10:00〜17:00
8 日（日）10:00〜16:00
会場：弁天町交差点から 130m 区間
問 /TEL：0296-72-0119
（さくらガス（株）藤枝）

○第 3 回行幸町わくわくフェスタ
日時：6 月 8 日（日）10:00〜20:00
会場：笠間駅前通り行幸町地区内
問 /TEL：0296-72-0504（青木）

編集後記

あなたとうつわをつなぐやきのも情報誌【miniiku】vol.4 はいかがでしたか。【miniiku】は「陶芸女子」をこよなく愛する女子たちの会「陶芸女子」による情報誌です。今号では、笠間と益子のやきものの歴史に触れるべく、貴重なお話をお聞いしました。「知れば知るほど奥が深くて面白い！」と改めて思いました。この場を借りてお礼を申し上げます。そして、春といえば陶器市！私たちも新たなうつわとの出会いがとても楽しみです。【miniiku】への感想、笠間と益子の情報をぜひ教えてください。お待ちしております！

map@tougei-web.com　@miniiku_
http://www.facebook.com/tougei.gal　http://tougei-web.com/jyoshi

関東やきものライナー 高速バス
かさましこ
焼物の里へ毎日運行
秋葉原から乗り換えなしで快適快速
茨城交通

秋葉原駅から関東やきものライナーにご乗車されたお客様に、お得な２日間有効のクーポンパスをプレゼント！
焼物の里・笠間をぶらりとお得に巡ってみませんか。
miniiku編集部おすすめのスポットをご紹介します♪

お買い上げ価格より 10%OFF!
※一部商品を除く

笠間焼窯元共販（株）
共販センター
箸置きや茶碗と言った日常食器を中心に、笠間火器も取り扱っています。取り扱い作家数は笠間屈指の約100 人。自分へのお土産探しにおすすめです！
笠間市下市毛861-3
0296-72-5665
9:00〜17:00
年中無休

お買い上げ価格より 10%OFF!
※一部商品を除く

かつら陶芸
笠間焼の有名作家の作品から現代の若手作家まで豊富な品揃え。素朴で温かみのある笠間焼を手に取りながら、木立に囲まれたお店でゆっくりとお買い物を楽しめます。
笠間市下市毛 47-3
0296-72-6688
9:30〜18:00
12/30・31 定休

陶芸教室代金より 10%OFF！

製陶ふくだ
200 余年の伝統を守り続けている笠間焼の窯元。自然に囲まれた雰囲気の中で、自分だけの器を作ってみませんか？粘土手ひねり・絵付けの体験ができます。
※詳しくは店舗へお問い合わせ下さい。
笠間市下市毛 754
0296-72-0670
9:00〜17: 00
年末年始定休

団体料金でご利用頂けます！

茨城県陶芸美術館
笠間芸術の森公園の中にある「伝統工芸と新しい造形美術」をテーマにした、気軽に立ち寄れる陶芸専門の美術館です。板谷波山・松井康成といった巨匠たちの作品が並びます。
笠間市下笠間2345
0296-70-0011
9:30〜17:00
（入場は 16:30 まで）
月曜定休（祝日の場合翌日）

かさま周遊バス

笠間の見どころをぐるっと周遊！
1回乗車につき　100円
1日フリー乗車券　200円
かさま周遊バス サイト▶
※乗車券は周遊バス車内にて販売
月曜運休（祝日の場合は翌日）

特典ご利用の際は、各店舗でクーポンパス（乗車証明書）をご提示ください。
クーポンパスは2日間有効、配布実施は下り便のみです。ご希望の方は、バス降車時に乗務員へお申し付け下さい。

他にも「かさましこ」サービス特典がたくさん！
詳しくはこちら▶